

第25号議案

「第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 東京大会」の後援名義の使用承認
について

上記の議案を提出する。

平成29年7月7日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 南 新平

文京区教育委員会 後援 名義使用申請書

平成29年5月30日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会
 東京大会実行委員会
 住所 (所在地) 東京都台東区浅草橋5-1-24
 東京都立忍岡高等学校
 代表者名 (ふりがな) おかじま
 実行委員長 岡島 まどか (東京都立忍岡高等学校) (印)
 代表者連絡先 (事務担当者) 東京都台東区浅草橋5-1-24
 東京都立忍岡高等学校 tel:03-3863-3131
 実行委員会事務局長 高橋 靖子



下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 東京大会	
実施期間	平成 30年7月26日(木) から 30年7月27日(金) まで (2日間)	
実施場所	文京シビックホール	
事業内容	目的	本大会は、全国の家庭科を学ぶ高校生が家庭科で学んだ知識・技術を生かしながら、家庭や学校、地域社会の生活向上を図った研究・実践活動の成果を発表するとともに、情報交換などを通して交流を深め、互いに研鑽を積む目的として開催される。学びの場である本大会を区内小中学生にも見学してもらい、家庭科教育への関心や生活の充実向上を図る力を身に付けたいという意欲を高められることを期待したい。
	内容	全国高等学校家庭クラブ員の日頃の研究活動の発表と全国連盟の総会を行い、広く全国につながる連帯感のもとに会員相互の研修を深め、家庭生活並びに地域社会の向上発展に資する。
	対象者	高校生・教育関係者・区内小中学生 (参加予定人員1,800人)
	参加費	資料代 1人 1,800円
他団体の共催、後援等 (申請中)	(主催) 全国高等学校家庭クラブ連盟 一般財団法人家庭クラブ 全国家庭科教育協会 関東ブロック高等学校家庭クラブ連盟 東京都高等学校家庭クラブ連盟 東京都高等学校長協会家庭部会 東京都高等学校家庭科教育研究会 東京都高等学校家庭学科研究会 (共催) 東京都教育委員会 (後援) 文部科学省 全国高等学校長協会 全国高等学校長協会家庭部会 公益財団法人産業教育振興中央会 日本放送協会 日本学校農業クラブ連盟 東京都高等学校長協会 東京都産業教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部	
備考		
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <input checked="" type="checkbox"/> 同意する ・ <input type="checkbox"/> 同意しない		

※ 「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会(東京大会)収支予算案

収 入

(単位:円)

項 目	予算額	改定予算額	適 用
1 一般財団法人家庭クラブ負担金	5,000,000	5,000,000	平成28年度200万円 平成29年度200万円 平成30年度100万円
2 全国高等学校家庭クラブ連盟助成金	2,000,000	2,500,000	平成27年より50万増
3 全国家庭科教育協会助成金	50,000	50,000	
4 ブロック全国大会助成金		600,000	関東ブロック積立金
5 関東各県家庭クラブ連盟負担金	2,100,000	2,100,000	30万円×7県
6 東京都教育委員会助成金		300,000	
7 東京都家庭クラブ連盟負担金	250,000	250,000	
8 財団法人日本教育公務員弘済会助成金	200,000	200,000	
9 東京都産業教育振興会補助金	35,000	35,000	
10 参加料(資料代)	2,160,000	2,160,000	資料代(1,800円×1,200人)
11 雑収入	870	870	預金利息
合 計	11,795,870	13,195,870	

支 出

(単位:円)

項 目	予算額	改定予算額	適 用	
大会費	1 旅費	1,510,000	1,660,000	功労者招待旅費、運営生徒交通費・来賓等弁当代
	2 報償費	797,000	802,000	参加記念品・賞品・副賞・大会出演謝礼等
	3 消耗品費	200,000	200,000	事務用品等
	4 通信・運搬費	85,000	300,000	運搬費・郵送料
	5 印刷・製本費	600,000	600,000	大会誌
	6 借料・損料	4,800,000	5,000,000	会場費・機器借料
	7 会議費	60,000	110,000	役員会・審査会・会議費
	8 研究・展示費	230,000	230,000	研究展示・会場装飾・生徒交流会
	小 計	8,282,000	8,902,000	
事務局費	1 旅費	1,779,910	1,829,910	大会視察・事務引継・会議等旅費
	2 消耗品費	215,000	215,000	事務用品等
	3 通信・運搬費	324,000	324,000	郵送料・電話料
	4 印刷・製本費	275,000	275,000	案内状・礼状・ポスター・チラシ印刷
	5 広告・宣伝費	580,000	680,000	FHJ大会記録誌・大会DVD・PR誌
	6 借料・損料	100,000	150,000	会議室使用料、会場下見借料
	7 会議費	130,000	150,000	各種会合費等
小 計	3,403,910	3,623,910		
予 備 費	109,960	669,960		
合 計	11,795,870	13,195,870		

第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 東京大会要項 (案)

東京発 希望の切符を携えて 夢に向かって走り出せ

- 1 趣 旨 全国高等学校家庭クラブ員の日頃の研究活動の発表と全国連盟の総会を行い、広く全国につながる連帯感のもとに会員相互の研修を深め、家庭生活並びに地域社会の向上発展に資する。
- 2 期 日 平成30年7月26日(木)・27日(金)
- 3 会 場 文京シビックホール
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 TEL 03-5803-1100
- 4 参加者 全国高等学校家庭クラブ員及び関係高等学校長・指導主事・教員 約1,800名
- 5 参加費 一人につき 1,800円(資料代)
- 6 主催 全国高等学校家庭クラブ連盟 一般財団法人家庭クラブ
全国家庭科教育協会 関東ブロック高等学校家庭クラブ連盟
東京都高等学校家庭クラブ連盟 東京都高等学校長協会家庭部会
東京都高等学校家庭科教育研究会 東京都高等学校家庭学科研究会
- 7 共 催 東京都教育委員会
- 8 後 援 文部科学省 全国高等学校長協会 全国高等学校長協会家庭部会
(予定) 公益財団法人産業教育振興中央会 日本放送協会 日本学校農業クラブ連盟
文京区教育委員会 東京都高等学校長協会 東京都産業教育振興会
公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部
- 9 大会事務局 東京都立忍岡高等学校 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-1-24
TEL 03-3863-3131 FAX 03-3863-3153 E-mail mail@fhj66taikai.sakura.ne.jp

10 日 程

7月26日(木)		7月27日(金)	
文京シビックホール 小ホール		文京シビックホール 大ホール	
役員会		大会第1日	
9:10	受付	10:30	受付
9:30	開会	12:00	1 オープニング
	1 開会のあいさつ	12:30	2 開会式
	2 大会実行委員長あいさつ		①開会のあいさつ
	3 議長団選出		②国歌斉唱
	4 議長団あいさつ		③家庭クラブの歌斉唱
	5 議事		④大会実行委員長あいさつ
	① 平成29年度会務報告		⑤主催者代表あいさつ
	② 平成29年度決算報告		⑥共催者あいさつ
	③ 平成30年度新役員承認		⑦来賓祝辞
	④ 平成30年度新役員代表あいさつ		⑧来賓紹介
	⑤ 平成30年度事業計画案		⑨激励のことば
	⑥ 平成30年度予算案		⑩祝電披露
	⑦ 平成31・32・33年度大会開催地について	13:20	3 研究発表
	⑧ 平成31年度大会開催地代表あいさつ		「ホームプロジェクト」
	6 感謝状贈呈	15:50	1 日目閉会
	7 閉会のあいさつ	16:00	生徒交流会(小ホール)
10:35	閉会	16:30	生徒交流会閉会
			大会第2日
		9:10	開場(受付)
		9:30	1 総会
		9:55	2 研究発表
			「学校家庭クラブ活動」
			— 昼食 —
		12:25	3 アトラクション
		13:50	4 FHJスカラシップ
			留学生報告
			5 全国連盟事業報告
			6 講評
			7 審査結果発表
			8 研究発表者表彰
			9 閉会式
			①連盟旗授受
			②次期開催地生徒代表あいさつ
			③次期開催地紹介
			④閉会のあいさつ
		15:30	閉会

第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 東京大会実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会東京大会実行委員会と称し、事務局を東京都立忍岡高等学校内に置く。

(目的)

第2条 本会は、第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会開催に必要な一切の業務を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 大会開催に必要な全ての企画・運営・経費に関する事項
- (2) 文部科学省、東京都教育委員会、全国高等学校家庭クラブ連盟、関東ブロック高等学校家庭クラブ連盟、東京都高等学校家庭クラブ連盟、関係機関・団体との連絡調整に関する事項

第4条 前条の事業を行うため、主な業務内容は次のとおりとする。

- (1) 総務・会計
- (2) 会場設営
- (3) 進行・誘導
- (4) 広報・記録・大会記念品
- (5) 展示・看板
- (6) 研究発表・審査・表彰
- (7) アトラクション・会場装飾
- (8) 宿泊・見学
- (9) 受付・案内・接待・救護
- (10) 役員会・総会
- (11) その他第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会に関すること

(組織)

第5条 本会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 委員は、東京都高等学校家庭クラブ連盟加盟校の成人会員及び関係する教職員等より委員長が委嘱する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 3～4名
- (3) 専門部長 6名
- (4) 監事 2名
- (5) 専門委員長 6名

(役員を選任)

第7条 役員を選任は次のとおりとする。

- (1) 委員長は、事務局校の校長をもって充てる。
- (2) 副委員長は、東京都高等学校家庭クラブ連盟成人会長及び東京都高等学校長協会家庭部会長等をもって充てる。
- (3) 専門部長は、東京都高等学校家庭クラブ連盟加盟校及び東京都高等学校長協会家庭部会の校長又は副校長より委員長が委嘱する。
- (4) 監事は、東京都高等学校家庭クラブ連盟加盟校の校長及び企画室(課)長より委員長が委嘱する。
- (5) 専門委員長は、東京都高等学校家庭クラブ連盟加盟校の顧問教師より委員長が委嘱する。

(役員を任務)

第8条 役員を任務は次のとおりとする。

- (1) 委員長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 専門部長及び専門委員長は本部委員会を構成し、その職務を行う。
- (4) 監事は、事業及び本会の会計を監査する。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。顧問は委員長が委嘱し、委員長の諮問に応ずるものとする。

(任期)

第10条 委員及び役員を任期は本会の業務が完了するまでとする。ただし、特別な事情がある場合にはこの限りではない。

(会議)

第11条 会議は大会実行委員会、専門部会とし、委員長が招集する。

- 2 前4条に定める業務を具体的に推進するために専門部会の中に各専門委員会を設置し、各部門の専門部長、専門委員長、専門委員でこれを構成する。

(事務局)

第12条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局に必要な事項は、委員長が別に定める。

(会計)

第13条 本会の経費は、負担金・補助金・その他の収入をもって充てる。なおその業務は事務局員が当たる。

(その他)

第14条 本会は第2条の目的を達成したときに解散するものとする。

附則

- 1 この会則は平成28年4月1日から施行する。
- 2 生徒実行委員会の専門部会はこの会則に準ずるものとする。

第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 東京大会役員(平成29年度)

大会顧問

文部科学省初等中等教育局視学官 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官 全国高等学校長協会会長 全国高等学校長協会家庭部会理事長 全国家庭科教育協会会長 公益財団法人産業教育振興中央会専務理事	
東京都教育委員会教育長 東京都教育庁都立学校教育部長 東京都教育庁指導部高等学校指導課長 東京都教育庁指導部高等学校指導課主任指導主事 東京都教育庁指導部高等学校指導課指導主事 東京都高等学校長協会会長 東京都産業教育振興会長	

全国高等学校家庭クラブ連盟役員

役 職	学 校 名 (所属)	生徒役員	成人役員
会 長	全国連盟会長校	生徒会長	校長
副 会 長	都連盟会長校	生徒会長	校長
	全国連盟会長校		顧問教員
	大会実行委員事務局校	生徒実行委員長	
全国事務局長	家庭クラブ事務局		事務局長

東京都大会実行委員会

(1) 成人役員 (その1)

役 職	氏 名 (所属及び職名)	
委 員 長	岡島まどか (東京都立忍岡高等学校長)	
副委員長	川原 博義 (東京都立桐ヶ丘高等学校長) 小堀 紀明 (東京都立瑞穂農芸高等学校長) 小塩 明伸 (東京都立足立東高等学校) 加藤 泰弘 (東京都立足立西高等学校)	
専門部長	黒後 茂 (東京都立鷺宮高等学校長) 藤野 泰郎 (東京都立三鷹中等教育学校長) 石井 久美子 (東京都立芦花高等学校長) 笹 のぶえ (東京都立三田高等学校長) 上野 勝敏 (東京都立富士高等学校長) 木田 貴子 (東京都立翔陽高等学校副校長)	
監 事	仁井田孝春 (東京都立つばさ総合高等学校長) 油井 功 (東京都立忍岡高等学校企画室長)	
顧 問	今成 昭 (元東京都立白鷗高等学校長) 富川 麗子 (中部学校経営支援センター経営支援室担当) 金澤 正美 (中部学校経営支援センター支所統括支援主事) 永井 愛 (東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事)	
事務局	代 表	岡島まどか (東京都立忍岡高等学校長)
	事務局長	高橋 靖子 (東京都立忍岡高等学校主幹教諭)
	事務局次長	佐藤真紀子 (東京都立忍岡高等学校主任教諭) 中村 留美 (教育庁指導部高等学校教育指導課)
	庶 務	局 葉子 (東京都立忍岡高等学校主任教諭) 金沢 昭良 (東京都立忍岡高等学校主任教諭) 星 いづみ (東京都立忍岡高等学校教諭) 國井 彩乃 (東京都立忍岡高等学校教諭)

専門委員（平成29年度常任委員等）

(2) 成人役員 (その2)

専門部		専門部長	専門委員	専門部担当校
第1	役員会・総会 生徒研修会 生徒交流会	黒後 茂校長 (鷺宮高等学校)	○矢野 紀子 村岡 千賀子 笹間 真由美 中村 珠美 橋本 由利子	日野台高等学校 忍岡高等学校 南葛飾高等学校 上野高等学校 鷺宮高等学校 淵江高等学校 晴海総合高等学校 (5支部)
第2	会場設営 司会進行 宿泊交通・警備	石井 久美子校長 (芦花高等学校)	○谷口 としえ 石塚 多恵子 近藤 悦子 山崎 靖	調布北高等学校 竹早高等学校 総合工科高等学校 杉並総合高等学校 北豊島工業高等学校 桐ヶ丘高等学校 小石川中等教育学校 板橋有徳高等学校 工芸高等学校 (4支部、都家研)
第3	受付案内・総合案内 接待・会場美化・救護・販売	上野 勝敏校長 (富士高等学校)	○赤坂 房子 井上 紗織 並川 朋美 三野 直子	富士高等学校 足立西高等学校 成瀬高等学校 農芸高等学校 豊多摩高等学校 井草高等学校 中野工業高等学校 稔ヶ丘高等学校 西高等学校 練馬工業高等学校 (3支部)
第4	研究発表・審査 集計・表彰・賞品 スカラシップ	藤野 泰郎校長 (三鷹中等教育学校)	○内田 文子 小山 茂登子 梶原 恵美子 渡辺 真理子 大串 京子	三鷹中等教育学校 江北高等学校 深沢高等学校 小平西高等学校 足立高等学校 国立高等学校 小平南高等学校 南多摩中等教育学校 (多摩支部)
第5	オープニング・アトラクション 家庭カブの歌・弁当 記念品・配布物	笹 のぶえ校長 (三田高等学校)	○湯澤 十史子 石井 麻恵 野村 知世 原 直子	三田高等学校 六本木高等学校 永山高等学校 桜修館中等教育学校 小山台高等学校 戸山高等学校 つばさ総合高等学校 大島高等学校 三宅高等学校 神津高等学校 八丈高等学校 (1、2支部)
第6	広報・記録・展示 インタビュー	木田 貴子副校長 (翔陽高等学校)	○梅沢 真澄 古屋 知子 巢瀬 奈緒美 奥平 大樹	白鷗高等学校 小平高等学校 芝商業高等学校 篠崎高等学校 小松川高等学校 城東高等学校 橘高等学校 東高等学校 (6支部、学科研)

○は委員長

(3) 生徒役員 (その1)

役 職	氏 名 (学 校 名)
大会委員長	品川 渚夏 (東京都立忍岡高等学校)
大会副委員長	池松 有里 (東京都立日野台高等学校) 小日向 初那 (東京都立白鷗高等学校)

(4) 生徒役員 (その2)

専門部	生徒代表委員	担 当 校
第1	鎌倉 彩由佳 (日野台高等学校)	日野台高等学校 忍岡高等学校 南葛飾高等学校 上野高等学校 鷺宮高等学校 淵江高等学校 晴海総合高等学校 (5支部)
第2	川島 麻実 (調布北高等学校)	調布北高等学校 竹早高等学校 総合工科高等学校 杉並総合高等学校 北豊島工業高等学校 桐ヶ丘高等学校 小石川中等教育学校 板橋有徳高等学校 工芸高等学校 (4支部、都家研)
第3	島田 理沙 (富士高等学校)	富士高等学校 足立西高等学校 成瀬高等学校 農芸高等学校 豊多摩高等学校 井草高等学校 中野工業高等学校 稔ヶ丘高等学校 西高等学校 練馬工業高等学校 (3支部)
第4	関 柚花 (三鷹中等教育学校)	三鷹中等教育学校 江北高等学校 深沢高等学校 小平西高等学校 足立高等学校 国立高等学校 小平南高等学校 南多摩中等教育学校 (多摩支部)
第5	佐々木 陽菜 (三田高等学校)	三田高等学校 六本木高等学校 永山高等学校 桜修館中等教育学校 小山台高等学校 戸山高等学校 つばさ総合高等学校 大島高等学校 三宅高等学校 神津高等学校 八丈高等学校 (1、2支部)
第6	小日向 初那 (白鷗高等学校)	白鷗高等学校 小平高等学校 芝商業高等学校 篠崎高等学校 小松川高等学校 城東高等学校 橘高等学校 東高等学校 (6支部、学科研)